

大阪・関西万博応援マガジン

EXPOST

Feb.
2025
VOL. 07
TAKE FREEEXPOST [エクスポスト]
EXPO(万博)+POST(新聞)の造語TEAM
EXPO
2025
いどうみらいに、
共創チャレンジ

184日間 万博は毎日がお祭りだ



EXPOホールの前で取材に応じる、左から万博催事検討会議共同座長の大崎洋さん、池坊専好さん、催事企画プロデューサーの小橋賢見さん（産経新聞社提供）

多彩なイベント
予約抽選スタート

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の魅力はパビリオンだけではない。会場で開かれるイベントも万博ならではの楽しみだ。会期中（4月13日～10月13日）の184日間、さまざまなジャンルの公演や展示などが毎日行われる。すでに予約の抽選申し込みが始まっており、お目当てのイベントに入場するには早めにスケジュールをチェックすることが必要だ。

万博が開幕する4月13日朝、オープニングイベントとして行われるのが「1万人の第九 EXPO2025」。万博アンバサダーである佐渡裕さんの指揮で大屋根リングやウォータープラザに並んだ約1万人がベートーベンの「交響曲第9番」を大合唱する。この日夜は「うっせえわ」「唱」などのヒット曲がある人気歌手、Ado(アド)さんのオープニングスペシャルライブも屋外ステージの

EXPOアリーナ「Matsuri」で開かれる。

万博会場には面積2万3000㎡、約1万6000人を収容するEXPOアリーナのほか、開会式や閉会式が行われる約1900席のEXPOホール「シャインハット」、参加国・地域・国際機関のナショナルデーやスペシャルデーの式典が行われるEXPOナショナルデーホール「レイガーデン」などのイベント会場がある。

イベントは内外の祭りや伝統芸能、音楽、舞踊のほか、ポップカルチャー、健康、スポーツ、ビジネスをテーマにしたものなど多種多様で、公式サイトに登録されているものは1218件（2月3日現在）にのぼる。各パビリオンでもさまざまなイベントが行われる。

万博を主催する日本国際博覧会協会（万博協会）は「並ばない万博」の実現を目指し、パビリオンやイベントの事前予約制を導入した。開幕3カ月前の1月13日から来場抽選申し込みがスタートしている。

昨年12月、イベント会場を視察した催事企画プロデューサーの小橋賢見さんは「肉眼に勝るレンズは

ない。万博は一度来たら何度も来たいような場所になる」と強調。催事検討会議の共同座長で吉本興業ホールディングス前会長の大崎洋さんも「まだお客さんがいないのにワクワクしてきた」と語った。

→2面と6・7面に関連記事



万博開幕までカウントダウン。大阪市役所玄関前にあるミヤクミヤク像にも残日計が設置された。

■「火星の石」は日本館で展示

政府は1月26日、大阪・関西万博に出展する日本館を報道陣に公開した。燃料や食料への活用が期待される「藻類」の魅力を知ってもらうため、わかめやひじきなど32種類の藻類にふんした人気キャラクターの「ハローキティ」を展示。世界最大級の火星由来の隕石（いんせき）「火星の石」=写真（経済産業省提供）=も同館で公開する。



■バーチャルパビリオンが先行開館

大阪府・市は1月15日、大阪・関西万博に出展する大阪ヘルスケアパビリオンをメタバース（仮想空間）上で先行開館した。バーチャルライブ配信アプリ「リアリティ」を使い、利用者はアプリ内に開設された同パビリオンでリアル会場での展示内容などを見ることができる。万博会期中は会場内で開催されるイベントの生配信も行う。

■アンバサダーに「ハイジ」

スイスは1月14日、大阪・関西万博のパビリオンのアンバサダーに「アルプスの少女ハイジ」が就任したと発表した。大自然の中でブランコに乗る象徴的なシーンから着想を得て天井からブランコをつるすなど、アニメの世界観を生かした展示を行う=写真（同パビリオン提供、©ZUIYO）。4月22日のナショナルデーには「私はハイジです」と題したパフォーマンスを開催する。



■くら寿司、万博特別メニュー発表

回転ずし大手のくら寿司は昨年12月12日、大阪・関西万博に出展する店舗で、握りずしのほか万博に参加するタイやベトナムなど70カ国の名物料理を再現した特別メニューを提供すると発表した。店舗は同社では最長となる135mの回転レーンがある338席の大型店。メニューは駐日大使館などの協力で約1年半かけて開発した。

大阪・関西万博の最新ニュースは「EXPOST」の公式アカウントでも紹介しています。ぜひご覧ください。



誰でも楽しめる万博に オンラインツアーなど複数のプロジェクト

障がいや病気、高齢のため大阪・関西万博に行きたくても行けない人に「オンラインツアー」など、さまざまな方法で万博を楽しんでもらおうという複数のプロジェクトが進んでいる。関係者は「高齢者や障がいの者の社会参加につなげ、万博のレガシー（遺産）にしたい」と意気込んでいる。オンラインツアーと万博会場でのサポートを計画しているのは「LET's EXPO（レッツエキスポ）」。三菱UFJ銀行系の関西イノベーションセンター（MUC Kansai）、オンライン観光の東京トラベルパートナーズ、住友電気工業が推進役で、約1000人の現地ボランティアが参加登録している。

オンラインツアーは会場にいるスタッフが映像をネット配信し、全国の介護施設や障がい者施設の入所者に大型テレビで視聴してもらう。ライブ中継だが、一般の来館者に迷惑をかけないよう、パビリオン内の映像は事前収録したものを使用。チャット機能を使って視聴者がスタッフに質問でき、万博に関するクイズも楽しんでもらう。テレビ用のアプリは住友電工が開発した。配信は1日1回。当初は週1回から始め、軌道に乗れば3回まで増やす。住友館や三菱未来館など9つの国内パビリオンが協力する。海外パビリオンとも交渉中だ。万博ではオンラインで分身キャラクター（アバター）を操作してパビリオンを楽しむ



AIスーツケースの利用イメージ（日本アイ・ピー・エム提供）



「バーチャル万博」が開設される。学生ボランティアを募り、その手助けも行う。会場内のサポートでは、ボランティアが車いすを押したり、視覚障がい者を誘導したりする。週1回から始める計画で、団体を対象に2月3日、4〜6月分の申し込み受け付けを開始した。日本財団ボランティアセンターが募集や運営で協力している。オンラインツアーで34万人、会場サポートで1万人の利用を見込んでいる。

アバターロボットとAIスーツケース
重い病気や障がいいで入院中や自宅療養

中の子もたちにアバターロボットを使って遠隔で万博を体験してもらう計画を進めているのが大阪市立総合医療センターの岡崎伸医師らの「どこでも万博」だ。

「temi」というロボットは自分の位置をリアルタイムで把握しながら目的地に移動。頭部のディスプレイを通して病院にいる子どもが現地の人と会話することができる。イタリアパビリオンが計画に協力する。

視覚に障がいのある人を目的地まで自動で誘導するロボット「AIスーツケース」の本格的な実証実験も行われる。見た目はスーツケースだが、内部にセンサーやモーターが組み込まれており、ハンドルを握ると動きだす。周囲の歩行者や道路状況を音声で伝え、段差を乗り越えることもできる。日本科学未来館（東京都江東区）とコンピュータメーカーなどが共同開発した。万博では複数台を運用する。

8割以上が「万博に行きたい」
LET's EXPOが昨年春、身体的不自由を抱える全国の60歳以上の男女471人を対象に実施した調査では86.4%が万博に「行きたい」「どちらかというに行きたい」と回答。一方で98.1%は「実際には行けない」「どちらかというに行けない」と答えた。MUC Kansai シニアマネジャーの村上弘祐さんは「万博でのこうした民間によるサポートは初めてと聞いている。何らかの形で万博後も残したい」としている。

り団体が集まる交流盆踊りも開催。河内家菊水丸さんがゲスト出演する。春（5月9〜18日）は、府内各地のだんじりや檜、太鼓台を集めて展示・実演し、大阪の祭りを紹介。歌舞伎や能楽、人形浄瑠璃など上方伝統芸能の公演も行う。歌舞伎には中村扇太郎さん、片岡愛之助さん、市川中車さんらが出演を予定している。秋（9月4〜17日）は、大阪ゆかりのジャズなどさまざまなジャンルの音楽ステージを開催。音楽で万博を盛り上げる。

TEAM EXPO 2025のセミナーでプロジェクトについて説明するLET's EXPOのメンバーら（LET's EXPO提供）



韓国、アイルランド、シンガポール 海外パビリオン 姿現わす

大阪・関西万博で参加国が自前で建てる「タイプA」のパビリオン。建設の遅れが心配されていたが、2月上旬現在、多くのパビリオンで外観が完成し、開幕に向け内装や展示の工事が急ピッチで進んでいる。昨年12月20日、報道陣に公開された韓国パビリオンは外壁全面（高さ10m、幅27m）に設置された大型高精細ディスプレイが特徴だ。韓国の観光名所のほか、日本でも人気のK-POPのコンサート映像を映すことを検討している。現在は内装工事が行われており、3月に完成予定だ。

パビリオンのテーマは「ウイズ・ハート（心をつなぐ）」。館内に3つの展示室があり、来場者の声を人工知能（AI）で分析して音楽に変換したり、15年後の未来社会のイメージを映像で表現したりする。レストランでは韓国の伝統料理などを提供。大韓貿易投資振興公社（KOTRA）の幹部は「韓国の新たな魅力を感じてほしい」と語った。アイルランドパビリオンは建設工事が完了し、12月17日に万博協会からタイプAで初めて「完了証明書」の交付を受けた。アイルランドの伝統的な渦巻き模様をモチーフにした、高さが異なる3つの円形を組み合わせたパビリオンで、外壁は同国産の木材で覆われている。テーマは「創造性が人々をつなぐ」。アイルランドの歴史や文化、日本とのつながりを紹介するほか、音楽などのパフォーマンスを披露する。

高さ約17mの赤い球体がシンボルのシンガポールパビリオンは11月に外観が完成した。球体は約1万7千枚のリサイクルされ

たアルミの円板で覆われている。テーマは「ゆめ・つなぐ・みらい」。来場者に夢が持つ無限の可能性を探求し、未来を築いていく行動を起こすきっかけにもらう場所になりたいという。パビリオンには「ドリーム・スフィア（夢の球体）」という名前がある。万博協会は12月27日、日本側が建設を代行する簡易型パビリオン「タイプX」での出展を表明していたイランなど4カ国が撤退すると公表した。一方、新たに西アフリカの島しょ国、カボベルデが参加することが決まり、参加国・地域は計158となった。このうち「万博の華」とされるタイプAのパビリオンは47カ国。建設業者との契約が難航するなど当初想定より工程は遅れていたが、12月9日に唯一未着工だった地中海の島国、マルタが着工した。万博協会の石毛博行事務総長は12月5日の会見で、一部の海外パビリオンについては、4月13日の開幕までに内装や展示の工事が完了しない可能性があるとの認識を示した。

BIE事務局長「確実に実行」
大阪・関西万博の参加国を集めた「国際参加者会議」（IPM）が1月15・16日、兵庫県姫路市内で開かれ、各国の代表ら約600人が出席した。開幕前最後の会議で、博覧会国際事務局（BIE）のディミトリ・ケルゲンツェス事務局長は冒頭あいさつで「これから数週間、世界に対する私たちの約束を確実に果たす責任がある。すべてのものがシームレスに組み合わせるよう、誰もが確実に実行に移す時です」と述べた。

写真④大屋根リングに面した外壁全面に巨大ディスプレイが設置された韓国パビリオン（産経新聞社提供）
同⑤ 12月17日にタイプAで初めて「完了証明書」の交付を受けたアイルランドパビリオン（同パビリオン提供）
同⑥ 巨大な赤い球体がシンボルのシンガポールパビリオン。「ドリーム・スフィア（夢の球体）」と呼ばれる（同パビリオン提供）



三菱グループが出展した万博とパビリオンのテーマ		
1970年	大阪万博	日本の自然と日本人の夢
1975~76年	沖縄海洋博	人と海
1985年	つくば科学博	すばらしい地球・人間
1990年	大阪花博	生命としての地球、そして人間の明日
2005年	愛知万博(愛・地球博)	もしも月がなかったら
2025年	大阪・関西万博	いのちの始まり、いのちの未来

「三菱未来館」。この名前を聞いただけで、子ども時代に1970年大阪万博を体験した世代はワクワクするだろう。三菱グループが大阪万博に出展した同パビリオンには会期中に1155万人が入場した。とくに子どもたちの間で人気ナンバーワンだった。三菱グループはその後、国内で開かれた万博に同じ名前で開催してきた。その三菱未来館が大阪・関西万博で大阪に帰ってくる。今度はどんなパビリオンになるのか。大阪万博とのつながりはあるのだろうか。開幕に向け準備を進めている三菱大阪・関西万博総合委員会事務局を訪ねた。

参考にしたのは愛知万博

「[大阪万博の答え合わせをするのか]とか[続編になるのか]とよく聞かれるのですが、連続性はないんですよ。そうするのは小美野(おみの)一事務局長だ。三菱グループは万博に出展するたび、グループ各社からメンバーが集まって事務局を組織する。2021年に発足した大阪・関西万博の事務局が参考にしたのは大阪万博ではなく、直近の2005年に開かれた愛知万博(愛・地球博)の運営方法だった。パビリオンのテーマも連続性より、その時代にあったものを重視するという。

大阪万博では東宝の大作映画プロデューサーだった田中友幸が制作を統括したが、今回は参加申請する段階で、事務局メンバーが外部の意見を聞きながらコンセプト作りから始めた。「三菱未来館だからといって無条件に出展を認められるわけではありません。応募要領を読み込み、『今の時代に求められるものは何か』を真剣に議論しました」と小美野さんは振り返る。

こうして「いのち輝く地球を未来に繋ぐ」というコンセプトが決定。「いのちの起源と未来を探るため、未知なる深海から遙かなる宇宙へと時空を超えた旅に出かける」という展示内容の構想もまとまった。

パビリオンは環境負荷をできるだけ抑えたのが特徴だ。大阪万博は4階建ての巨

大な建物だったが、今回は2階建て延床面積2100㎡。建物の外装に半透明のポリカーボネート材や鋼製足場板などの工業製品を使用した。これらの資材は万博閉幕後、別の現場に回すことを想定している。

「地上に浮かぶマゼーシップ」。三菱未来館にはそんな呼び名がある。20本の鋼管杭を基礎としたうえで地面を半地下状に掘削し、その上に建物を浮かべたような構造になっているからだ。入場時の待機スペースとなる半地下の空間は風通しがよく、暑さや雨風をしのげるため、入場者以外にも開放する。すでに展示工事が終わり、開幕に向けた最終準備が進んでいる。

太古の深海から火星へ

入場者は宇宙船に乗り込むように待機スペースから階段でパビリオン内に入り、5分半のプレショーを見学する。その後、エスカレーターでシアターがある2階へ。ここで上映されるのが「JOURNEY TO LIFE」というメインショーの映像コンテンツだ。

地球の生命は40億年前に深海で生まれ、5億年前に陸上に進出した。恐竜の時代などを経て人類が登場し、やがて宇宙へ。メインショーでは太古の深海から約7500万km離れた火星まで時空を超え、いのちを巡る壮大な旅がVFXや3DCGによる迫力ある映像で描かれる。観客は「パーティカルシャトル」という乗り物に乗り、生命に関わるさまざまな現場を目撃するという趣向だ。

生命の起源解明に迫る

なぜ目的地は火星なのか。地球と兄弟星とされる火星の地下には液体の水が残っており、生命がいる可能性が指摘されている。火星を探索することは、生命の起源解明につながるかもしれないからだ。

科学的な正確性を確保するため、生命の起源や宇宙での生命についての研究の第一人者、関根康人・東京科学大学(旧・東京工業大学)教授に総合監修を依頼。エンターテインメントに偏らず、学術的な裏



メインショーが上映される三菱未来館のシアター。天井まで広がるディスプレイで没入感のある映像を体験できる。現在は座席が取り付けられている(三菱大阪・関西万博総合委員会事務局提供)

付けのある映像作品になったという。

脚本は「ドラえもん」や最新の「ポケモン」シリーズの佐藤さん、音楽はジブリ作品などを手がけた村松崇継さん。ツアーのナビゲーションを担当するキャラクターの「ビビ」と「ナナ」は東京五輪・パラリンピックの公式マスコットで知られるイラストレーター、谷口亮さんが考案した。監督は電通

ライブチーフ・クリエイティブディレクターの加藤友之さん。大阪万博では円谷英二、伊福部昭、星新一、福島正美、真鍋博という第一線で活躍していたクリエイターたちが参加したが、今回は豪華な顔ぶれだ。

映像制作は日本、オーストラリア、タイの3か国のデザイナーやクリエイターたちによるグローバルなチームが担当した。

メインショーが上映されるシアターには床から天井まで広がる高さ9m、幅11mの大型高精細ディスプレイが設置され、観客は座席に座って没入感のある映像を鑑賞する。メインショーの上映時間は8分半。パビリオン内に定員100人のシアターが2カ所設けられ、時間をずらして上映する。

事務局は1日の入場者を最大7000人、会期中に120~130万人と見込んでいる。大阪万博の1155万人と比べるとずいぶん控えめだが、今回は予約制を導入するため入場者数は限られるという。

子どもたちに見てもらいたい

幅広い年齢層をターゲットにしているが、小美野さんが特に見てほしいのは2050年に社会の中核を担っている世代。今は10歳から15歳の子どもたちだ。「地球に生命

が生まれ、進化したのはさまざまな偶然が重なったからだといわれます。だから地球は「奇跡の星」なのです。子どもたちに地球の大切さに気づいてほしいというのが三菱未来館からのメッセージです」と話す。

大阪万博の三菱未来館は人類が自然に打ち勝ち、未来を切り開く姿を迫力ある映像で描いた。当時は未来がまだ光り輝いていた時代だ。55年後の現代は地球温暖化

による異常気象、相次ぐ戦争や紛争、先進国の少子高齢化、途上国の人口増加と貧困といった課題が山積している。それでも人類は「奇跡の星」を守り、未来へと受け継いでいかなければならない。

その主役と期待されるのは今の子どもたちだ。「未来」の定義はさまざまに変わったが、三菱未来館のメッセージは大阪・関西万博でもしっかりと受け継がれそうだ。

大阪万博をオマージュ

大阪・関西万博の施設や展示には1970年大阪万博をオマージュしたものが多く、万博の開会・閉会式が行われるEXPOホール「シャインハット」。白い円すい状の外壁の上に金属製の円形屋根が金色に輝いている=1面写真。基本設計を手がけた伊東豊雄さんによると、この屋根は1970年大阪万博のシンボル・太陽の塔の最上部にある「黄金の顔」を意識したものだ。伊東さんは建築家の菊竹清訓のもとで大阪万博のエキスポタワーの設計に携わっ



1970年の三菱未来館(共同通信社提供)



キャラクターのビビとナナ(三菱大阪・関西万博総合委員会事務局提供)

特撮映画の中にいるみたい

1970年大阪万博の三菱未来館とは、どんなパビリオンだったのか。

テーマは「日本の自然と日本人の夢」。館内に5つの展示室があり、入場者が動く歩道に乗って進むと両側の壁面や天井、床に嵐で荒れ狂う海、爆発する火山、50年後の宇宙ステーションや海底都市の迫力ある特撮映像が映し出された。演出には多面スクリーンやスモークスクリーンといった当時の最新映像技術が使われた。

映像を撮影したのは映画「ゴジラ」で知られる特撮監督の円谷英二。音楽もゴジラのテーマ曲を手がけた作曲家の伊福部昭が担当した。大阪万博の数年前、日本では空前の怪獣ブームが起きていた。三菱未

来館では自分が特撮映画の中にいるかのような体験ができたことが子供たちの人気を呼んだ理由だった。70年に亡くなった円谷にとって、この映像は遺作となった。

1155万人という入場者数は全パビリオンで8位、民間ではトップだった。

同館が来館者に配ったパンフレットには「50年後のあなた」というページがあり、「人間の働く時間は一日4時間に短縮される」「ガンは克服される」といった未来の予想が載っていた。左の記事で2025年三菱未来館の小美野一事務局長が「(70年の)答え合わせか」と聞かれたのはこのことだ。

こうした未来の社会や生活についての予想も当時の子どもたちをワクワクさせた。

1970年大阪万博のパビリオン入場者ランキング					
1位	ソ連館	28,000,000人	6位	スイス館	12,600,000人
2位	カナダ館	25,035,000人	7位	日本館	11,632,627人
3位	アメリカ館	16,500,000人	8位	三菱未来館	11,556,268人
4位	エルサルバドル館	13,725,000人	9位	オーストラリア館	11,554,420人
5位	アメリカン・パーク	12,810,000人	10位	チェコスロバキア館	11,200,000人

黄金の顔と同じ大きさだ。オランダ政府代表を務めるマーク・カウバース在大阪オランダ総領事は「1970年の万博とのつながりも感じていただけるのでは」という。

太陽の塔内部の展示空間には、高さ41mの「生命の樹」という巨大なオブジェがあり、原生生物からアンモナイト、恐竜、マンモス、人類に至るまで進化のダイナミズムを表現した292体の模型が幹や枝に取り付けられていた。大阪・関西万博でパソナグループが出展するパビリオン「PASONA NATUREVERSE」にも高さ10mの「生命進化の樹」が設置される。幹の内側に進化の歴史をたどる地層があり、地下へと続く幹

と根は深遠な過去を、幹から伸びる枝は未来への無限の可能性を表している。

「いのちの輝き」をテーマに「セル(細胞)」を意識した赤い球体をつなげたデザインである大阪・関西万博の公式ロゴマーク。目のように見える5つの点は、5枚の桜の花びらをデザインした大阪万博のシンボルマークから着想を得たという。2020年に行われたロゴマークの発表会見で、考案チーム代表のアートディレクター、シマダタモツさんは「太陽の塔をデザインした岡本太郎さんのDNAを表現した」と語っている。

大阪・関西万博は1970年大阪万博を体験した世代も楽しめる万博になりそうだ。



三菱未来館の夜景(三菱大阪・関西万博総合委員会事務局提供)

万博 注目のイベント

Adoさん、1万人の第九…開幕祝う

大阪・関西万博の開幕を記念するAdoさんのオープニングスペシャルライブは予約抽選の対象。ファンクラブも先行受け付けしており、かなりの競争になりそうだ。

昨年9月、Adoさんのイメージイラストを使った広告が米紙ニューヨーク・タイムズに掲載され、話題となった。Adoさんは「私の愛する日本の文化や音楽の素晴らしさを私のパフォーマンスを通してたくさんの皆様にお見せできれば」とコメントしている。

「1万人の第九 EXPO2025」は午前9時スタート。開場と同時に入場すれば、「歡喜の歌」の大合唱を聴くことができる。

EXPOホールのこけら落としとして、最新テクノロジーを使った音楽エンターテインメントショー「Physical Twin Shymphony 調和する人とテクノロジーの未来」も4月13～20日に行われる。「人間が身体・脳・空間・時間の制約から解放された新しいライブパフォーマンスを提供する」という。

各国が自慢の文化を発信

参加国が日替わりで自国の文化を発信する「ナショナルデー」。この日に合わせて元首が来日する国もあり、万博での国際交流を象徴する行事と位置付けられている。国内外のVIPを招いて記念式典を開くほか、さまざまなイベントを繰り広げる。

オーストリアは5月23日のナショナルデーにEXPOナショナルデーホールで「ウィーン少年合唱団コンサート」を開く。「天使の歌声」の愛称で知られる同合唱団は500年

以上の歴史を持ち、ユネスコの無形文化遺産に登録されている。今年は初来日から70周年で、全国ツアーも予定している。

アゼルバイジャンのナショナルデーは6月5日。「命をつなぐ」というイベントを開催し、同国の伝統的な舞踊を披露する。サウジアラビアは9月23日、EXPOホールやナショナルデーホール、アリーナ、ポップアップステージを使ってナショナルデーを祝うコンサートやパフォーマンスを予定している。

万博で「推し活」を楽しもう

4月29日、EXPOアリーナで開催される「EXPO2025 LDH DAY SPECIAL「Jr.EXILE LIVE」」は、Jr.EXILE4グループによるライブ。万博のスペシャルサポーターを務めるTHE RAMPAGE、FANTASTICS、BALLISTIK BOYZ、PSYCHIC FEVERが登場する。出演グループは「世界中の皆様日本のエンタテインメントを楽しんでいただけるように全力でパフォーマンスさせていただきたい」(THE RAMPAGE)とコメントしている。

「未来へのOne Step! ～世界を結ぶ愛の歌声～」(4月29日～5月1日)は宝塚歌劇団卒業生によるショー。「タカラヅカEXPO'70」で初舞台を踏んだ麻実れいさんが55年の軌跡をたどる語り部となり、豪華メンバーが宝塚歌劇の名シーンや名曲を披露する。

韓国はナショナルデーの5月13日に新進気鋭のアーティストらによるスペシャル・コンサートを予定している。万博は「推し活」の場としても注目されそうだ。

世界のお祭りや

ポップカルチャーのイベント続々

欧州最大の日本文化イベント「Japan Expo」が4月26・27日、EXPOホールとメッセで行われる。2000年にフランスでスタートし、毎年約25万人が来場する人気フェスティバルが逆輸入される形。ステージとブース展示で、漫画やアニメ、ゲーム、J-POPから伝統工芸まで世界標準の日本の「クール」を入場者に体感してもらうという。

今回の万博はポップカルチャーをテーマにしたイベントが多いのが特徴だ。

「Cool Japan Showcase Anime・Manga Tourism Festival」(4月30日～5月2日)は、漫画やアニメの舞台となった場所をファンが訪ねる「聖地巡礼」をインバウンド(訪日客)にも楽しんでもらうため、自然、伝統、文化、食など地方の魅力を発信する。

7月20日は「GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION」のパビリオンデー。ホールで開催されるイベントでは機動戦士ガンダムの世界を映像体験でき、ファン必見だ。

東北絆まつり 初めて東北外で

東日本大震災からの復興を願って東北6県の夏祭り(青森ねぶた祭、秋田竿燈まつり、盛岡さんさ踊り、山形花笠まつり、仙台七夕まつり、福島わらじまつり)が一堂に会する「東北絆まつり」。6県で持ち回り開催していたが、今年は6月14・15日に万博の会場(EXPOアリーナ)で行われる。

万博でも祭りのパレードがあるほか、仙台七夕の飾りや青森のねぶたなどの展示が行われる予定。仙台市で昨年開かれた

同祭りには2日間で57万人が訪れた。

1970年大阪万博でも披露され、日本を代表する踊りとなった阿波おどり。5月2・3日に「世界が踊る日～多様性が織りなす踊りの輪 徳島の阿波おどり～」が行われる。阿波おどりの屋台骨を支えてきた有名連をはじめ、学生連、県外連が参加する。

6月19・20日に石見神楽、26日にはよさこい祭りも予定され、大阪にいながら全国の祭りや伝統芸能を見ることができる。

大相撲、SASUKE、鳥人間コンテスト

「大相撲万博場所」が8月3日、EXPOメッセで開かれる。日本相撲協会に所属する横綱以下約200人の力士が登場。翌4日は日本各地や世界の相撲文化をリアルに体験できる「SUMOが世界をひとつにする! SUMO EXPO 2025」も行われる。

「TBSキッズアトラクション」(4月13～20日)は、スポーツ・エンターテインメント番組「SASUKE」と9月に開催される「東京2025世界陸上競技選手権大会」を体感できる

イベント。「SASUKEジュニアCUP」で使用したセットコース分などを設置し、子どもに障害物にチャレンジしてもらう。

自作の人力飛行機で飛行距離を競う「鳥人間コンテスト」。1977年にスタートした人気番組の展示会も7月23～25日に行われる。参加した人力飛行機の展示やシミュレーターによる体験フライトが行われる。

5月6・7日にはプロレス団体の大阪プロレスが大阪・関西万博大会を開催する。

古典芸能も最新技術で演出

古典歌舞伎とバーチャルシンガー、初音ミクの代表曲の世界観から着想を得た「超歌舞伎(CHO-KABUKI) Powered by IOWN[今昔饗宴千本桜 Expo2025 ver.]」が5月24・25日、EXPOホールで行われる。

歌舞伎の様式美と最先端テクノロジーが融合したエンターテインメント作品で、中村獅童さんと初音ミクが次元を超えて共演する。超歌舞伎はNTTと松竹などが2016年から上演している人気公演。NTTパビリオン

デーの催しの一環として行う。次世代通信基盤「IOWN(アイオン)」を使い、初音ミクの人気が高い台湾でも同時上映する。

9月9日に開催する「初耳怪談EXPO2025～恐怖で世界を震わせろ～(仮)」は、日本トップクラスの怪談師たちがとっておきの怪談を披露するイベント。話芸だけではなく、映像・光・音などのさまざまな演出を取り入れることで観客の背筋を凍らせる。いずれも古典芸能の新しいスタイルだ。

エンタメが大阪に集結

写真⑥ニューヨーク・タイムズに掲載されたAdoさんスペシャルライブの広告
 同④ 昨年、仙台市で開かれた東北絆まつり(産経新聞社提供)
 同⑤⑥アゼルバイジャンの「命をつなぐ」(Azerbaijan Pavilion & Heydar Aliyev Center)
 同⑦⑧オーストリアの「ウィーン少年合唱団」(©www.lukasbeck.com)



ハロウィーン、花火ショー、こども万博

アイランドの「ハロウィーン・フェスティバル」が10月11日、EXPOアリーナで開かれる。同国はハロウィーン発祥の地。スペクタクル・シアターカンパニーのマクナス社とコラボレーションし、アイランドで毎年行われるハロウィーン・パレードを万博で再現する。この日は万博開幕2日前の土曜日。会場は大いに盛り上がりそうだ。

10月10・11日に行われる「未来のトビラをひらく『こども万博』」は、「子どもの夢を応援する一日」をテーマにしたファミリーイベント。さまざまな体験を通じて「好き」に出会えるきっかけを見つけてもらう。

日本を代表する花火大会が集結するのが「Japan Fireworks Expo」。会期中に計

8回行われ、全国の花火師たちが万博のために製作した芸術玉を披露する。日本固有の文化である「花火大会」の魅力を世界に向けて発信するのがねらいで、7月23日はスペシャル花火ショーが行われる。

毎日行われるイベントもある。日没後に行われる「One World, One Planet.」は光と音とテクノロジーの織りなすスペクタクルショー。会場全体に音楽が流れ、1000機のドローンショーや大屋根リングのライトアップ、EXPOホール外壁のプロジェクションマッピングなどさまざまな演出が行われる。万博会場内外で一般の人がスマートフォンなどを使って「願いの投稿」ができる参加型イベントも実施される。

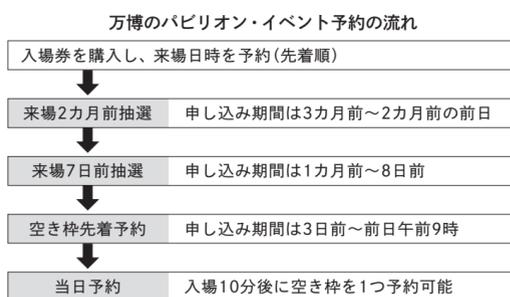
毎日開催されるイベントも

バーチャル万博会場でも、リアル会場の演出に合わせてショーを楽しめる。「アオと夜の虹のパレード」は每晚2回、大屋根リング内側のウォータープラザで行われる水上ショー。水と空気をテーマにした物語を300基の噴水などで演出する。ショーに登場するキャラクターらの声優に俳優の夏木マリさんやタレントの友近さんを起用した。約2500人分の観覧席のうち、観賞しやすい約1000人分の席は予約対象となっている。

毎日行われるイベントもある。日没後に行われる「One World, One Planet.」は光と音とテクノロジーの織りなすスペクタクルショー。会場全体に音楽が流れ、1000機のドローンショーや大屋根リングのライトアップ、EXPOホール外壁のプロジェクションマッピングなどさまざまな演出が行われる。万博会場内外で一般の人がスマートフォンなどを使って「願いの投稿」ができる参加型イベントも実施される。

毎日行われるイベントもある。日没後に行われる「One World, One Planet.」は光と音とテクノロジーの織りなすスペクタクルショー。会場全体に音楽が流れ、1000機のドローンショーや大屋根リングのライトアップ、EXPOホール外壁のプロジェクションマッピングなどさまざまな演出が行われる。万博会場内外で一般の人がスマートフォンなどを使って「願いの投稿」ができる参加型イベントも実施される。

抽選は来場2カ月前と7日前の2回



中村獅童さん(左)と初音ミクが共演する超歌舞伎(クリプトン・フューチャー・メディア提供)

場合、まず1月13日～2月12日に申し込む。抽選に外れれば、3月13日～4月5日に同じイベントを再び申し込むことができる。

来場3日前～前日と当日入場後にも空枠があれば先着順で予約可能。事前予約は最大3枠だが、当日予約は別途1枠を設け、消化するたびに新たに予約できる。

予約対象は抽選申し込みが始まった1月13日時点でパビリオン36館とイベント11件。Adoさんのライブなどの一部イベントは抽選が2カ月前のみとなる見通しだ。また、今は予約対象外でも、万博開幕までに予約制を導入するパビリオンやイベントもある。

イベントやパビリオンの予約抽選は、前売り券を購入し、来場日時を予約した後、大阪・関西万博の公式サイトにある「マイチケット」のページから申し込む。

予約抽選に参加できるのは、来場日を基準に①2カ月前抽選(申し込み期間は3カ月前～2カ月前の前日)と②7日前抽選(同1カ月前～8日前)の2回。どちらも第5希望まで選べ、結果は通知される。例えば、4月13日のイベントを予約したい



外周がガラスパネルのらせん回廊で覆われたチェコパビリオン (©Office of the Czech Commissioner General)

万博会場に輝くガラスの回廊 チェコパビリオン 外観が完成

大阪・関西万博にチェコが出展するパビリオンの外観が完成し、1月10日、報道関係者に公開された。外周がガラスパネルのらせん回廊で覆われた木造のパビリオン。本紙「EXPOST」も見学したが、想像していた以上にユニークで美しい建物だった。

建設されたのは大屋根リング内側の水辺空間・ウォータープラザに面した区画。高さは万博協会の設計ガイドラインで限度とされた12mあるが、延べ床面積は2300㎡という中規模のパビリオンだ。回廊のパネルには

名産品のボヘミアンガラスを使用。見学会の4日前に最後のパネルが設置され、現在は内装工事が行われている。

建物の外周に沿って入口から屋上までロープでつながっており、この回廊が展示スペースとなっている。回廊は半透明のガラスから外の光が入り、明るい空間だ。

テーマは「人生のための才能と創造性」。日本でも人気の画家アルフォンス・ミュシャ(1860～1939年)の作品に着想を得て画家ヤクブ・マトゥシュカさんが制作した全長

250mの壁画が通路に描かれる。回廊の途中に広い場所があり、初公開となるミュシャのブロンズ彫刻や、ミュシャの世界観をイメージしたガラス芸術家ロニ・プレスルさんの作品が展示される。プレスルさんのガラス彫刻は夜間、ライトアップされる。

屋上まで上ると現れるのが会場を一望できるテラスだ。大屋根やウォータープラザ、他のパビリオンを見渡すことができる。屋上を開放するパビリオンは限られるため、写真の撮影スポットとして人気を集めそうだ。帰りは回廊の内側にある階段で地上へ。館内にはエレベーターも設置される。

一部がふくらんだ円筒形をした建物の中央部にはコンサートや講演会などが行われる吹き抜けのオーディトリウム(多目的ホール)が設けられる。1階はレストランと土産物店。テラス席もあるレストランでは名物のチェコビールや料理が提供される。

一部に鉄骨が使われているが、パビリオンの主要構造は木造だ。チェコは海外参加国で初めて2023年9月、建設許可を大阪市に申請したが、着工できたのは8カ月後の24年5月だった。木製パネルを使うため

見学会で説明する
オンドジェイ・ソシュカ
政府代表(右)と
村尾和則社長(中央)

強度試験などのデータの提出を求められ、建設業者探しにも時間がかかったという。

結局、大阪市の中堅ゼネコン、大末建設が施工を引き受けた。チェコの工場でガラスや木製パネルなどの建築資材を製造し、日本に運んで現場で組み立てることで工期を短縮。チェコの職人も応援に駆け付け、6カ月で外観の完成にこぎつけた。

チェコ政府代表のオンドジェイ・ソシュカさんは記者会見で「挑戦的なプロジェクトだったが、予定より3週間早く工事を終え、美しいパビリオンができた。万博ではチェコがクリエイティブな国であることを伝えたい」とアピール。大末建設の村尾和則社長は「日本では前例がない建物。チェコの職人の技術力にも感心した」と語った。

万博では内外の有名建築家らが設計したパビリオンが立ち並び、それが見どころの一つになっている。中でもチェコパビリオンは注目される建物の一つだろう。

その美しさが際立つのは日没後だ。回廊から漏れた光でパビリオンはシャンデリアのように輝き、その姿がウォータープラザの水面に映し出されるに違いない。



展示室となる回廊のイメージ (©Office of the Czech Commissioner General)